

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																			
福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校		平成11年3月31日		花田 一穂		〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町21-2 (電話) 092-262-2118																			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																			
学校法人滋慶学園		昭和58年12月23日		浮舟 邦彦		〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																		
文化・教養	文化・教養専門課程	音楽プロデュース科				平成14年文部科学省 認定	-																		
学科の目的	大きく変化するエンターテインメント業界の中、新しい感性やテクノロジーへの理解とマネジメント力を持ち、楽曲のみならず、映像・アプリケーションなどを使ったコンテンツの制作が行える人材の育成を行う																								
認定年月日	平成14年2月27日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
3年	昼間	2700	1770	1650	0	0	0																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																				
120人	32人	1人	2人	8人	10人																				
学期制度	■1学期:4月1日~9月30日 ■2学期:10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目について、出席率、授業態度、臨時および定期試験の成績、レポートならびに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める4段階評価とする。A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点 ABCを合格とし、Dを不合格とする。																				
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月19日~8月21日 ■冬季:12月23日~1月10日 ■学年末:2月23日~3月31日			卒業・進級条件	1.各年次57単位以上を修得した者は進級・卒業資格を有する。 2.上記1に該当する者は卒業・進級認定会議により最終決定する。																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・定期的な本人との連絡、面談 ・個別課題の出題 ・特別補講の実施 ・保護者への連絡と連携 ・個別出席対応・指導 ・進路相談等			課外活動	■課外活動の種類 地域イベントボランティア・校内イベント実行委員会 ■サークル活動: 無																				
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 映像制作会社/音楽プロダクション等 ■就職指導内容 ・就職対策授業・就職オリエンテーション・就職カウンセリング・面接、履歴書指導・学内企業説明等の実施・オーディション指導 ■卒業生数 5 人 ■就職希望者数 3 人 ■就職者数 3 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 60.0 % ■その他 ・進学者数: 0人 ・その他進路 2人 (令和3年度卒業生に関する 令和4年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度在籍者に関する令和4年3月31日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AI-900 Microsoft Azure AI Fundamentals</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ</td> <td>③</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>JESCO認定コミュニケーションスキルアップ検定</td> <td>③</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 就職実績、デビュー実績等は、ホームページに記載 URL: http://www.fsm.ac.jp/					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AI-900 Microsoft Azure AI Fundamentals	③	9	2	アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ	③	8	8	JESCO認定コミュニケーションスキルアップ検定	③	10	7
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																						
AI-900 Microsoft Azure AI Fundamentals	③	9	2																						
アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ	③	8	8																						
JESCO認定コミュニケーションスキルアップ検定	③	10	7																						
中途退学の現状	■中途退学者 3名 令和3年4月1日時点において、在学者27名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者25名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、経済的問題、病気療養等 ■中退防止・中退者支援のための取組 中退防止:進路変更委員と担任による進路相談、スクールカウンセラーによる学生相談窓口の実施 中退者支援:グループ姉妹校への転校、再入学の案内			中退率	11%																				
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 無 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																								
当該学科のホームページURL	https://www.fsm.ac.jp/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成において、企業・団体等の意見を活かし、必要となる最新の知識、技術を反映するために、企業・団体等が委員として参加する教育課程編成委員会を設置する。また委員会においては、教職員と業界で活躍する非常勤講師が講師会において検討している授業科目の開設や授業方法の改善等の情報や、年2回開催(7月・10月)の合同企業説明会/新人発掘プレゼンテーションでの企業アンケート、また随時教務担当者による企業訪問等を通じての意見も十分に考慮して、教育内容に反映していくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程の編成は、理事会のもとに設置された教育課程編成委員会において討議した内容を十分に考慮した上で、学科会議において編成を行なうものとし、委員会の適切な運営は理事長が担保することとなっている。また、教員組織規則において、「委員会の審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施する教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従って委員会を運営することとし、PDCAサイクルの過程により教育課程編成の意思決定を行う。

Pプラン(教育課程編成委員会)、D実行(学校・学科)、Cチェック(教育課程編成委員会)、A改善(学校・学科)

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
吉田 孟史	学校法人滋慶学園	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 常務理事
花田 一穂	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学校長
宮崎 美鈴	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 運営部長
長尾 道孝	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 副校長
花野 恭子	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和4年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 事務局長
佐久間 康明	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 教務部長
古賀 重剛	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 事務部長
西本 祐介	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
古谷 望	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
白石 美可	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
中村 理佐	福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	学校委員 学科長
吉田 健一	公益社団法人 日本ストリートダンススタジオ協会	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	①
伊東 宏晃	tearbridge production株式会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
在國寺 穂	何者合同会社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
戸田 清章	株式会社日本芸能文化社	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
永吉 啓嗣	株式会社リブソン	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
小野 卓哉	合同会社テリー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
坂口 聡	株式会社フリーダムエンタテインメント	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
高橋 剛	株式会社エスエルアイ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③
奥 功二	株式会社ハーツコーポレーションチーフプランナー	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)
年2回(6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年6月6日 14:00～16:00

第2回 令和5年2月28日 実施予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

毎年2回実施している教育課程編成委員会は、学校教育全般、専門的な業界知識の向上や現状の業界に対しての教育力を高めるためのご意見やご指導をいただく場としている。ここでいただいたご意見やご要望に関しては、即対応できるものから、時間をかけて取り組むべきことまで様々なものがあり、本校の教育理念に照らし合わせて活かすべきことは積極的に取り入れている。これはカリキュラム・シラバスはもとより、人間教育の面も含まれている。委員会での意見の一部とその活用状況は以下の通りである。キャリア教育の一環としての、コミュニケーションスキルアップ検定の導入や、ホスピタリティオリエンテーション等を実施し、セルフマネジメント力の強化に努めている。就労観を養う目的で、企業課題への取り組みや業界のプロとの共同作業を行う中で、個々のレベルに応じたステップを踏むことで必要な技術や知識を習得し、新たな気づきや仕事のやりがいを体感できる授業を実践している。また、個別最適化のカリキュラムとして、自立したアーティストを目指し、自ら立案したコンセプトを基に制作を行い、講師のサポートの下でチームマネジメントやノウハウを身に付ける授業を展開する。今後は立体音響の分野において指導者を確保し、次世代の音づくりについて学ぶ環境を整備する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 本校は実践的な能力を有した職業人教育を行うため、業界と学校が連携して行う「産学連携教育」を教育の基本としている。実践的な能力とは、業界の求める専門技術・知識、並びに人間力を持ち合わせた即戦力人材であると考え、その育成を業界とともに実習・演習を実施していくことを基本方針とする。 指導は本校の人材育成に賛同頂ける企業等から講師を招へいし実施しており、またカリキュラムの編成は教育課程編成委員会をベースに様々な業界からのヒアリングや企業訪問、校内就職イベント等での接触時において実施し、カリキュラム編成に活かしていくこととする。		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 連携企業と協定書を交わした上で企業課題に取り組む「企業プロジェクト」は、業界のプロからの指導のもと、プロの仕事と同じ工程を経験し、「コンセプト力」「クリエイティブ力」「プレゼンテーション力」等、実践力の修得を目的とした演習である。そのプロセスは、①オリエンテーション、②コンセプト作り、③プランニングコミュニケーション、④制作、⑤プレゼンテーション、の一連の流れを経る。 その演習の評価については、制作力と制作過程を通して、実践的な力を身につけているかどうかという視点で判断し、総合的な評価を行う。また職業観や勤労観を養うためにインターンシップ(業界研修)を実施し、企業の担当者の指導のもと、現場体験を深め、更なる即戦力としての技術・知識等の習得を行う。		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
コンポジションソングライティングプロジェクト	企業からの楽曲制作依頼をプロの施策現場をシミュレーションしながら、それぞれが役割を分担して楽曲制作を進めていきます。	株式会社リブソン
楽曲制作プロジェクト	音楽プロダクション、レコードメーカー、一般企業より楽曲制作依頼を受けチームを編成し楽曲制作を行う	SONY CSL/日本テレビAXON/ビクターエンターテインメント
ラジオ番組楽曲制作プロジェクト	産学連携教育システムの一環として、業界の企業からいただいた課題に応じて、楽曲・作品・イベント制作等に取り組む実践力を養成する。	ラフエフェム国際放送株式会社
アーティストディレクション	広く音楽をプロデュースする事を視点に置き、レコーディングについて学ぶ。主に企業からの課題制作を中心に、レコーディング、MIXを学びながら、業界の実際の制作方法を知る。発注者の意図をくみ取り、自主的に作業を進めてゆき、リーダーシップを学ぶ	株式会社日本芸能文化社
作品制作ワークショップ	自ら立案したプロジェクトを題材に作家/アーティストとしてのセルフプロデュース能力を高める為の授業である。プロジェクトの立案/企画/運営→作品制作→発表→検証が一連の流れとなる。単に「楽曲を作る」のではなく、「その楽曲にどう価値を生むのか」までを現役で活躍する講師と一緒に考え、制作に取り組むことで、自身の業界における作家/アーティストとしての自立像を作っていく	株式会社リブソン
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 研修は教職員規程において、一般教員、学科長、教務部長を対象とし、教員の授業内容・教育技法を改善並びにクラス運営の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定める。 研修内容は組織における人材育成・キャリア開発のサポートを目的とする一般社団法人滋慶教育科学研究所(JESC)との連携を通じての研修を中心に、別途業界関連企業が行う教育関係者向け研修を学校として組織的に計画、実施を行うものとする。		
(2) 研修等の実績 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「音楽・映像のサブスクリプションビジネスの未来とアーティストの形」(連携企業等:株式会社ユークリッド・エージェンシー) 期間:令和3年6月12日(土) 対象:講師、教職員 内容:音楽ビジネスがCD・DVD等の買い切り型ビジネスから期間や量に対して対価を支払う課金提供型のビジネスの転換期にある。その変わりゆく音楽ビジネスをLINE MUSICやApple Music等の定額制料金サービス実施企業を通して、その現状と必要な人材像を学ぶ。 研修名「ファンエンゲージメントとテクノロジーの融合について」(連携企業等:株式会社日本芸能文化社、株式会社レ・クリエーション、株式会社SKIYAKI) 期間:令和3年6月13日(日) 対象:講師、教職員 内容:デジタルトランスフォーメーション(DX)が音楽エンタテインメント業界でも加速度的に進んでいる。今やアーティストはSNSから発掘するものとまで言われている。また、ファンや人流のDATA分析やトレンドを把握し、認知獲得を理論的に構築することがビジネスにおいて必要不可欠となっている。その基本的理念と今後について学ぶ。		
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名「未来の音楽制作のカタチ～AI作曲支援“Flow Machines”～」(連携企業等:株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所) 期間:令和3年7月26日(月) 対象:講師、教職員 内容:DX時代の中で、AIとどう向き合うべきなのか、またAIをクリエイティブにどう活用するべきなのか、たくさんのソフトウェアやシステムがある中で、業界をリードするソニーグループの傘下企業様より未来の形を学ぶ。 研修名「ひとり一人を大切に キzzaニア流ホスピタリティ」(連携企業等:KCJ GROUP株式会社キzzaニア福岡事業部) 期間:令和3年11月16日(火) 対象:講師、教職員 内容:ひとり一人を大切に、気付きを得るためのキzzaニア流ホスピタリティについて学ぶ		
(3) 研修等の計画 ①専攻分野における実務に関する研修等 研修名「山口哲一氏 職員向け勉強会」(連携企業等:Studio ENTRE株式会社) 期間:令和4年5月31日(火) 対象:講師、教職員 内容:音楽・エンターテインメントとテクノロジーを掛け合わせたビジネスや今後の業界について学ぶ 研修名「オーディオミドルウェア Wwise勉強会」(連携企業等:オーディオキネティック・株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント) 期間:令和4年5月31日(火) 対象:講師、教職員 内容:ゲームや空間オーディオ等、双方向コンテンツで使用されている音声コントロール技術について学ぶ		
②指導力の修得・向上のための研修等 研修名「滋慶学園COMグループにおける学生支援/指導方針」(連携企業等:滋慶教育科学研究所) 期間:令和4年7月19日(火)、7月20日(水) 対象:教職員 内容:一人ひとりが成長できる学校をつくるための授業作り・クラス作り、個別支援のためのチーム支援や指導方法について学ぶ		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 学校教職員による委員の他、卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行なった自己点検・自己評価の内容を審議・評価する事を通じて学校運営の改善に活かす事を基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況
 学校関係者評価委員の意見を参考にしながら、学校運営の更なる向上に努めていきたいと考え、様々な取り組みを実施している。昨年度はコロナ禍により教育活動や地域支援活動においても制限があったが、今年度は地域における活動も促進してほしいとの意見をいただき、これを受けて本校では新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで、地域と相談しながら社会や地域貢献活動に取り組む。教育活動においては情報公開の内容について意見があり、分野ごとの修業年限や到達目標や学習内容をより明確にし、学科やコースの特色を分かりやすく説明する等ホームページの更新を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿 令和4年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
井戸川 誠	有限会社ソウルマティックス	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	卒業生
末永 奈緒美	在校生保護者	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	保護者
戎崎 淳一	福岡市大浜公民館 館長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	地域関係者
稲富 勉	福岡県立香椎高等学校 校長	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	高等学校関係者
永吉 啓嗣	株式会社リブソン ディレクター	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
坂口 聡	株式会社フリーダムエンタテインメント 代表取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
高橋 剛	株式会社エスエルアイ 専務取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
奥 功二	株式会社ハーツコーポレーション チーフプランナー	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者
戸田 清章	株式会社日本芸能文化社 代表取締役	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
 URL: https://www.fsm.ac.jp/school/public_info.html
 公表時期: 令和4年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
 企業等への具体的な情報提供方法としては、学校関係者評価委員会において、評価項目の添付資料として「教育指導要領・重点項目」を閲覧に供することで、教育活動から学校運営の情報が提供できるものとする。また、業界関係者である非常勤講師と教職員との間で開催する講師会において、教育活動から学生情報や学校運営に関する情報を提供していくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の理念・4つの信頼、校長名・所在地・連絡先、沿革、理事(役員)名簿、その他の諸活動に関する計画
(2) 各学科等の教育	入学者別、入学時期、取得資格、在学学生数、卒業生、カリキュラム、卒業・進級の概要、卒業生と関係し取得する称号、卒業生数、卒業の進路、主な就職先、資格検定等、OPA評価、カリキュラム、シラバス
(3) 教職員	教職員数、組織図、教員の専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、就職・デビュー支援、企業プロジェクト
(5) 様々な教育活動・教育環境	校舎設備紹介、学校行事への取組状況
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	学費一覧・諸費用について、奨学金案内、機関要件の確認申請書
(8) 学校の財務	財務資料
(9) 学校評価	自己評価報告書、学校関係者評価委員会
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、海外実学研修と専門留学
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法
 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
 URL: <http://www.fsm.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程音楽プロデュース科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○		ミュージックセオリーⅠ Music Theory	音楽におけるコミュニケーションに必要な基礎知識（楽譜の読み方・音の理解）を習得します。	1 半	30	2	○			○			○	
2	○		ミュージックセオリーⅡ Music Theory	音楽におけるコミュニケーションに必要な基礎知識（楽譜の読み方・音の理解）を習得します。	1 半	30	2	○			○			○	
3	○		ミュージックセオリーⅢ Music Theory	音楽による、より緻密なコミュニケーションに必要とされる音程・ハーモニー・リズムの理解を習得します。	2 半	30	2	○			○			○	
4	○		ミュージックセオリーⅣ Music Theory	楽曲制作やアレンジに必要な基礎知識（スケール・コード進行の理解）を習得します。	2 半	30	2	○			○			○	
5	○		イヤートレーニングⅠ Ear Training	プロミュージシャン・作曲家・アレンジャーに必要とされる高度なスケール・コードワークを習得します。	1 半	30	2	○	△		○			○	
6	○		イヤートレーニングⅡ Ear Training	音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。	1 半	30	2	○	△		○			○	
7	○		イヤートレーニングⅢ Ear Training	音を聴き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創作力を習得します。	2 半	30	2	○	△		○			○	
8	○		イヤートレーニングⅣ Ear Training	音程・和音・リズムの聴き分けが出来る聴力を習得します。	2 半	30	2	○	△		○			○	
9		○	グローバルコミュニケーションⅠ Global Communications	英会話をネイティブスピーカーより基礎から学び、国際社会に対応する為の、コミュニケーション力を養います。	1・ 通2・ 3	180	12	○	△		○			○	
10		○	グローバルコミュニケーションⅡ Global Communications	英会話をネイティブスピーカーより基礎から学び、国際社会に対応する為の、コミュニケーション力を養います。	1・ 通2・ 3	540	36	○	△		○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程音楽プロデュース科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
11	○		韓国語講座 I. II. III. IV Korean	ハングルを基礎から学び、国際社会に対応する為のコミュニケーションスキルを養います。	1・2通	120	8	○			○			○	
12	○		IT講座 I. II. III. IV IT Class	Word・Excel・PowerPointなどのビジネスソフトから映像編集、WEBデザイン、グラフィックデザインなどのアプリケーション操作方法を学びます。	1・2通	120	8	○	△		○			○	
13	○		コミュニケーション スキルアップ Communication Skill Up	社会人・職業人になるために必要な基本的なマナー・コミュニケーション能力を養います。	1半	30	2	○			○			○	
14	○		キャリア教育 I・II・III・IV・V・VI Career Education	様々なワークショップを通して人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意志決定能力を養います。	1・2・3通	180	12	○	△		○		○	○	
15	○		海外実学研修 Study Abroad- Short Term	国際教育の一環として、海外の企業や提携校等での研修、ネイティブとの交流を通じ、グローバル感覚を養成します。	1半	60	4		○			○		○	
16	○		特別講義 Guest Lecture	業界よりトップ・プロフェッショナルを招聘し、最新かつ高度な技術・知識、世界水準の思考法等を学び、課題発見・克服に役立てます。	随時	随時	認定	○	△		○			○	
17		○	インターンシップ Internship	最終学年次に業界企業（特に志望企業）の現場で実際の業務に携わり、内定獲得を目標に実践力を習得します。	随時	随時	認定		○			○		○	
18		○	キャリア クレジット Career Credits	学内外を問わず、就職・デビューを目的とした専門分野活動に対し、報告書提出を以って単位認定を行います。	随時	随時	認定		○		○	○	○	○	
19	○		企業プロジェクト Work Assignments	産学連携教育の一環として業界企業からの課題に応じて楽曲・作品・イベント制作等に取り組み実践力を養成します。	随時	随時	認定		○		○	○		○	○
20	○		進級制作 Required Project	進級に際し、年間の学修成果を作品提出・発表等の形式で表し、そのクオリティーの評価を以って単位認定を行います。	1・2半	60	4		○		○	○		○	○

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程音楽プロデュース科) 令和4年度																	
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
21	○			卒業制作 Graduation Project	卒業に際し、在学時の学修成果を作品提出・発表等の形式で表し、そのクオリティーの評価を以って単位認定を行います。	3通	60	4		○		○	○			○	○
22		○		就職対策 Preparation For Career	社会人になるために必要な言葉遣い、電話対応、ビジネス文書や履歴書・プロフィール作成等の知識やマナーを身につけます。	2・3通	120	8		○		○					○
23		○		楽器演奏 I・II Instrumental Playing	コンポーザーとして必要な基礎楽器演奏の習得を通して、コードワークや楽器の特性を学びます。	1通	60	4			○		○				○
24		○		DTM Desktop Music	音楽制作においてDTMシステムを活用できる技術を習得します。	1半	30	2		○	△		○				○
25		○		トラックメイク I・II・III・IV Track Make	ヒット曲の楽器構成や演奏法をDAW上で表現できるMIDIを使った入力法を学び作品制作を行います。	1・2通	120	8		○	△		○				○
26		○		メロディーメイキング I・II Melody Making	楽曲制作におけるメロディーラインの作り方を様々なジャンルの楽曲を分析しながら学びます。	2・3通	120	8		○	△		○				○
27		○		楽曲制作技法 I・II・III・IV・V・VI Songwriting Techniques	業界で現在最も求められているサウンドを研究し、作品制作を通してクライアントの要望に応えられる制作方法を学びます。	1・2・3通	240	16		○	△		○				○
28		○		プロツールズ I・II ProTools	音源制作のユニバーサルツールであるProToolsを使用したレコーディング・音源編集・ミックスダウン技術を習得します。	1通	120	8		○	△		○				○
29		○		レコーディングセオリー I・II Recording Theory	スタジオにおける実習の前段階としてレコーディング、及びミックスダウンに関する知識・技術の基礎を習得します。	1・2通	60	4		○	△		○				○
30		○		電気知識 Electric Fundamental	音響機器を扱うに当たって必要な電気の基礎知識や物理的な法則を学びます。	1通	60	4		○			○				○

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程音楽プロデュース科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
31	○		楽器知識 Instruments Knowledge	楽器の種類・知識・構造を学びコンサート・レコーディング現場における取り扱い方法などを学びます。	1 通	60	4	○	△		○			○	
32	○		バレエ基礎 Ballet Basic	全てのダンスの基本となるバレエを学び、ダンスのあらゆるバリエーションに対応できる基礎技術を習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
33	○		バレエ Ballet	全てのダンスの基本となるバレエを学び、ダンスのあらゆるバリエーションに対応できる応用技術を習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
34	○		ボディコンディショニング Body Conditioning	正しいストレッチ方法を学ぶと共に筋肉バランスを整え、ケガの予防法やボディメンテナンス知識を習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
35	○		ダンステクニック Dance Technique	ダンスパフォーマンスに必要な身体づくりとターンやジャンプ等のテクニックを習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
36	○		マルチパフォーマンス Multi Performance	ダンスの技術と共にダンスを通して何かを表現する際に必要となる演技基礎技術を習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
37	○		タップダンス Tap Dance	エンターテイメントの基本となるタップダンスのテクニックの基礎から応用までを習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
38	○		ストリートダンス Street Dance	ブラックカルチャーから生まれたストリート系ダンスのグループとテクニックをスタイルに合わせて基礎から習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
39	○		ヒップホップ Hip Hop	ブラックカルチャーから生まれたストリート系ダンスのグループとテクニックをスタイルに合わせて基礎から応用まで習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
40	○		ヴォイストレーニング Voice Training	ヴォーカリストとして重要な正しい発声方法・ソルフェージュを理解し、体作りから日々の練習方法までの基礎を習得します。	1 通 2 ・ 3	180	12		○		○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程音楽プロデュース科) 令和4年度															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
41	○		ヴォーカルベーシック Vocal Basic	ヴォーカリストとして重要な正しい発声方法・ソルフェージュ、細かい表現技法までを理解・分析し、表現の実践力を習得します。	1 ・ 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
42	○		ピアノ Piano	楽曲制作及びDTMIに必要な鍵盤楽器の基本的な奏法、音階やハーモニーの構造等を理解し、習得します。	1 ・ 2 ・ 3	180	12		○		○			○	
43	○		プリプロダクション I・II・III・IV・ V・VI Pre Production	企業からいただいた楽曲制作依頼をプロの施策現場をシミュレーションしながら、それぞれが役割を分担して楽曲制作を進めていきます。	1 ・ 2 ・ 3	540	36	○	△		○			○	
44	○		レコーディング ベーシック I・II Recording Basic	ヴォーカル・生楽器・電子音源、マイク録音・ライン録音等、あらゆる録音形態を学びます。	1 通	120	8	○	△		○			○	
45	○		MAベーシック I・II・III・IV Multi Audio Seminar Basic	音楽・効果音・台詞・ナレーション等の音声を、映像に効果的に録音・編集する為の基礎技術を学びます。	1 ・ 2 通	120	8	○	△		○			○	
46	○		レコーディングゼ ミ I・II・III・IV Recording Seminar	あらゆる録音形態を駆使したレコーディング実習を通して、音楽制作・スタジオエンジニアの実務応用技術を習得します。	2 ・ 3 通	360	24	○	△		○			○	
47	○		ベーシックPA I・II Basic Public Address	アナログPA機器やデジタルPA機器を使用しながら音響の基礎から応用までを学びます。	2 通	120	8	○	△		○			○	
48	○		レコーディング& ディレクション I・II Recording & Direction	レコーディング現場におけるスタジオワークの基本から制作の流れ、制作スタッフやミュージシャンとのコミュニケーションについて学びます。	2 通	60	4	○	△		○			○	
49	○		スタイル&アナ ライズ I・II・III・IV Style&Analysis	楽曲知識と音楽を聴き分ける力を養うとともに様々な音楽のハーモニー・メロディー・楽曲構成などを分析ながら学びます。	2 ・ 3 通	120	8	○	△		○			○	
50	○		DAWオペレー ション I・II・III・IV DAW Operation	最先端のサウンドを作り出すための、リズムトラック制作・エフェクトを使った音色加工を学びます。	2 ・ 3 通	240	16	○	△		○			○	

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程音楽プロデュース科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
51	○		作品制作ゼミ Creation Seminar	特定の課題に対し研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養います。	3通	240	16	○	△		○			○	
52	○		フリースタイル Free Style	様々なジャンルのリズムコンビネーションからムーブメントまでを組み合わせ、最新のムーブメントを習得します。	1・2・3通	180	12				○				○
53	○		フリースタイル ジャズ Free Style Jazz	ストレッチボディコントロールを学び、テクニックの応用をマスターし、様々な動作の組み合わせにより、表現力を習得します。	1・2・3通	180	12				○				○
54	○		ヒールスタイル Heel Style	ブロードウェイ等のショービジネス・バックダンサー界で必要不可欠な様々なダンススタイルを、ヒールシューズを履いて習得します。	1・2・3通	180	12				○				○
55	○		ジャズファンク Jazz Funk	基本的なストレッチ・ボディコントロールを学び、JAZZの要素とFunkyな振付をMIXしたテクニックと表現力を習得します。	2・3通	120	8				○				○
56	○		テーマパークバレエ Theme Park Ballet	テーマパークで必要とされるバレエの基礎から応用までを習得します。	1・2・3通	180	12				○				○
57	○		テーマパークスタイル Theme Park Style	クロスフロア・テクニック強化をメインにテーマパークで必要とされるスキルを習得します。	1・2・3通	180	12				○				○
58	○		テーマパークストリート Theme Park Street	ストリートの基礎をメインにテーマパークで必要とされるスキルを習得します。	1・2・3通	180	12				○				○
59	○		ダンスパフォーマンス Dance Performance	ダンススキルを学ぶと共にステージングや魅せ方、表情などステージに立つ際に必要となる表現の実践力を習得します。	1・2・3通	180	12				○				○
60	○		フリースタイルブレイキン Free Style Breakin'	基礎から応用のテクニックまでマスターし、柔軟性や筋力・リズム感を養いダイナミックな動きを習得します。	1・2・3通	180	12				○				○

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程音楽プロデュース科) 令和4年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
61	○		アクロバット Acrobat	アクション・殺陣の知識や技術を習得し、アクロバティックな動きを習得します。	1 ・ 2 ・ 3 通	180	12		○		○			○		
62		○	ヴォーカルテク ニク Vocal Technique	「スタンダード」と呼ばれる楽曲を課題として取り上げ、細かい表現技法までを理解・分析し、表現の実践力を習得します。	1 ・ 2 ・ 3 通	180	12		○		○				○	
63		○	ヴォーカルパ フォーマンス Vocal Performance	ヴォーカリストとしてパフォーマンス能力を向上させる為のリズムの取り方、アクションに加え、ステージマナーまでを習得します。	1 ・ 2 ・ 3 通	180	12		○		○				○	
64			SETOスタイル SETO STYLE	ソウルスタイルをベースにストリート全般の基礎から応用、表現力までを学び、更に振付や構成力を習得します。	随 時	随 時	認 定		○		○				○	
65		○	ゼミ Seminar	作品制作など特定の課題に対し研究・演習からプレゼンテーションまでを行い、実践力を養成します。	随 時	随 時	認 定	○	△		○				○	○
66		○	プロジェクト Project	産学連携教育の一環として業界企業からの課題に応じて楽曲・作品・イベント制作等に取り組み、実践力を養成します。	随 時	随 時	認 定	○	△		○				○	○
合計				66 科目				8640単位時間 (576単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
2565単位時間 (171単位)	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。